科目名	精神看護学特論Ⅱ	分野・必選別・単位数	専門科目（精神看護学）	選択必修	2単位

担当教員	◎教授　松澤和正						
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義

授業の概要	精神看護の諸課題を探究するためにもっとも重要となる、臨床現象への「概念的視力」ともいうべき、さまざまな理論的枠組みの内容や意義について、学際的な議論と批判を行うと共に、より臨床実践的な理論枠組みの可能性について検討し議論することを目的とする。
授業の到達目標	精神看護領域における臨床現象を捉えるための主観や概念や「臨床的視力」あるいはデータや文脈等の意味について、学際的な検討と議論を行い概説できる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	松澤　和正　教　授	科目概説 授業の目的、内容、方法、評価等を概説できる。
2	松澤　和正　教　授	臨床実践研究における主観とは何かについて検討し議論できる。(1)
3	松澤　和正　教　授	臨床実践研究における主観とは何かについて検討し議論できる。(2)
4	松澤　和正　教　授	臨床実践研究における概念とは何かについて検討し議論できる。(1)
5	松澤　和正　教　授	臨床実践研究における概念とは何かについて検討し議論できる。(2)
6	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるさまざまな「概念的視力」について検討し議論できる。(1)
7	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるさまざまな「概念的視力」について検討し議論できる。(2)
8	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるさまざまな「概念的視力」について検討し議論できる。(3)
9	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるさまざまな「概念的視力」について検討し議論できる。(4)
10	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるさまざまな「概念的視力」について検討し議論できる。(5)
11	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるデータとは何かについて検討し議論できる。(1)
12	松澤　和正　教　授	臨床実践研究におけるデータとは何かについて検討し議論できる。(2)
13	松澤　和正　教　授	臨床実践研究における文脈(コンテクスト)とは何かについて検討し議論できる。(1)
14	松澤　和正　教　授	臨床実践研究における文脈(コンテクスト)とは何かについて検討し議論できる。(2)
15	松澤　和正　教　授	臨床実践研究の「表現」としての意味と限界について検討し議論できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	授業内容に関する文献等を事前に読み込み、自分なりの理解と批判ができるようにしておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	必要時適宜提示する。
参考書	必要時適宜提示する。
成績評価の方法および基準	口答発表50%、レポート50%で評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針2と関連していることに留意し授業に取り組むこと。